

全 体 協 議 会

1 研究協議題

「豊かな人間性と創造性を備え、社会において自立的に生きる人間を育てる
中学校教育」

2 趣 旨

今日、我が国は少子高齢化・知識基盤社会化・グローバル化など社会の急激な変化の中
にあって、日々の生活基盤が大きく変容している。さらに、物質的な豊かさの一方で人間
関係の希薄化や雇用の不安定化などにより、日常生活の中で、心の豊かさを実感できず
にいる状況がある。

中学校教育の現状をみると、いじめや校内暴力、不登校などが大きな課題になっている。
また、学力の向上はもとより、家庭や地域社会との連携を一層強化し生徒の学習や生活の
基盤づくり、規範意識の育成、体力の向上など、健やかな心身の育成が学校教育に求めら
れている。

教育基本法及び学校教育法等の関係法令の改正、学習指導要領の改訂により、中学校で
は、平成24年度に学習指導要領の全面実施となった。これまでの「生きる力」の理念は
継承され、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成、豊か
な心や健やかな身体の育成など、今後、各学校における具体的な実践とその成果が期待さ
れるところである。

教育は、生徒一人一人の人格の完成を目指し、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会に
おいて自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本
的な資質を養うことを目的として行われるものである。特に、義務教育の最終段階を担う
中学校においては、将来をたくましく生きていく基礎を培い、それぞれの分野で活躍する
ことのできる基盤となる力を育成する責務がある。

そのためには、学校の教育力と教師の指導力を高め、知識・技能を確実に習得させると
ともに、それらを実際の生活や学習に活用する力、生涯にわたって諸課題を探究し解決し
ていく力を育成することが大切である。また、我が国の将来を担う生徒は、豊かな人間性
と創造性を身に付け、未来を切り拓いていくことが求められている。

豊かな人間性と創造性を備え、社会において自立的に生きる人間を育てる営みが、我が
国の未来を切り拓く人間を育成することにつながると考える。

我々校長は、学校経営の責任者としての使命感や確固たる教育理念とビジョンをもち、
課題解決に向けリーダーシップを発揮していく必要がある。

以上のことから、「豊かな人間性と創造性を備え、社会において自立的に生きる人間を
育てる中学校教育」を研究協議題として研究を深めることにより、中学校教育の向上に資
して、保護者や地域住民の信託に応えたいと考える。

	研究協議題	研究の視点	担当
全 分 科 会	「豊かな人間性と創造性を備え、社会において自立的に生きる人間を育てる中学校教育」		群馬
第1分科会	第1分科会（教育課程） 「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価	A 生徒の実態に即した教育課程の編成・実施・評価 B 創意ある教育課程の編成・実施・評価に関わる校長のリーダーシップ	群馬 山梨
第2分科会	第2分科会（基礎基本） 確かな学力の定着を図る指導と評価	A 基礎・基本の確実な定着を図るための教育活動の展開 B 学ぶ意欲を高め、主体的な活動を促す学習指導と評価の工夫・改善	群馬 茨城
第3分科会	第3分科会（健康・体力） 健やかな心身の育成と体力の向上を図る健康教育	A 家庭や地域、関係機関等との連携を図った健康教育の推進 B 体力の向上を図る体育・スポーツ活動の充実	群馬 長野
第4分科会	第4分科会（道徳教育） 豊かな心と感性を育てる道徳教育	A 道徳教育推進教師を核とした道徳の時間の充実 B 教育活動全体を通じた道徳教育の充実	群馬 東京
第5分科会	第5分科会（生徒指導） 規範意識や社会性を育む生徒指導	A 小・中学校間の連携を図った生徒指導の充実 B 家庭・地域と連携した生徒指導の充実	群馬 千葉
第6分科会	第6分科会（進路指導） 主体的に進路を選択する能力を育成する進路指導	A 小・中学校の連携を図ったキャリア教育の推進 B 学校・家庭・地域の連携を図った望ましい勤労観・職業観を育てる体験活動の充実	群馬 神奈川
第7分科会	第7分科会（職員研修） 教師力の向上を目指した研修の充実	A 教師相互が指導力を高め合う校内研修 B 創造力と使命感に満ちた教職員の育成	群馬 栃木
第8分科会	第8分科会（経営課題） 保護者の信頼に応える学校経営	A 地域の特色やボランティアを生かした学校経営 B 危機管理能力や意識を高める組織体制の充実	群馬 埼玉
第9分科会	第9分科会（条件整備） 家庭・地域との連携を生かした学校経営	A 家庭や地域社会との連携を深める教育活動 B 地域の教育力を活用した教育活動の工夫	群馬 新潟